

碧南防災ボランティア連絡会 定例会

日時 令和2年7月14日（火）午後7時～

場所 へきなん福祉センターあいくる 会議室2・3

1 社協主催防災講座について

(1) 西端地区

日時：令和2年8月23日（日）、9月20日（日）

時間は9時～

場所：

内容（案）：講義（防災課・社協）、可搬ポンプ、足湯

会場での密を避けるため町内会長を2グループに分け2日間で開催。

(2)

2 直近の活動予定

(1) 天王地区防災訓練

日時：令和2年9月13日（日）午前8時～12時

場所：天王区民館

内容：仮設トイレ、AED講習、足湯、新型コロナウイルス感染症対策等

天王区の会議が7月16日にあり、そこで詳細を話し合う予定。

(2) 西端地区町内会 AED 講習

日時：令和2年10月・11月に1回ずつ予定

(3) 大浜中区防災訓練

日時：令和2年11月15日（日）

3 その他

(1) 令和2年度碧海5市災害ボランティアコーディネーター養成講座

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各市8名までの定員（初めて参加の方優先で既に定員となりました）

日時：8月1日（土）10:00～16:00

■ 講演会「これからの災害ボランティアセンターの立上げと運営について～長野市災害ボランティアセンターを運営して～」

会員名	出欠
石川 千栄子	○
石川 良春	○
磯貝 清	○
板倉 美由紀	
大竹 敦子	
柏谷 聖子	
加藤 政雄	○
神谷 賢司	○
神谷 幸子	○
神谷 幸江	○
小池 友妃子	○
斉藤 富美枝	○
杉浦 卿子	
杉浦 清隆	○
杉浦 忠法	○
鈴木 裕之	○
鈴木 美香	○
須田 翠子	○
角谷 早苗	○
高橋 銀吾	○
竹原 幸子	
永谷 健伍	
柘宜田 悦子	○
福田 幸子	
山口 多恵子	○
山田 美恵子	
山本 真澄	○
渡辺 明博	
事務局	浅井

- 講師 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 山崎 博之 氏
- 災害ボランティアセンターの設置について
- 講師：安城市市民協働課
- 各地の災害ボランティアセンターについて
- 講師：刈谷防災ボランティア代表 山下克昭氏
- コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営とコーディネーターの対応について（講義とグループワーク）
- 講師：刈谷防災ボランティア代表 山下克昭氏

(2) 応急手当普及員講習
碧南消防署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度の開催は今のところ見合わせ中。

(3) 碧南防災ボランティア連絡会勉強会「新型コロナウイルス感染症禍での避難所運営の知恵袋」(R2.7.5実施)
・アンケート結果は別紙のとおり

(4) ゴミ袋でできる防護服の作り方勉強会
日時：令和2年7月22日（水）13時30分～
場所：レスキューストックヤード事務所
参加者：山本、加藤、神谷幸子、小池、斉藤、鈴木美香、須田、祢宜田

(5) 碧南防災ボランティア連絡会定例研修会
日時は8月29日（土）または30日（日）で調整中。

(6) 防災ボランティア連絡会メンバーの検便について
次回定例会時に配布する。

(7) 今後の取組（案）

- ・ 水害被害が現在起きているが他県からのボランティア受け入れは行っていない状況。メンバーでお金を集めて購入し防護服を送る支援はどうか。現在なかなか防護服も手に入らない状態。高浜市の碧海技研で防護服を作っているため確認。
- ・ 防災訓練にて、子どもがリュックに自分の好きなおもちゃやお菓子などを詰める体験。
- ・ 新聞紙での薪作り。
- ・ 植木鉢を利用した調理。
- ・ ユーチューブでの活動や情報等の発信。（活動に参加できない人も興味を持ってもらえる）

【次回の打合せ】

日時：令和2年8月11日（火）19時00分～ ※お盆期間のため日程の変更？
場所：へきなん福祉センターあいくる 会議室2・3
内容：足湯の勉強会

【次々回の打合せ】

日時：令和2年9月8日（火）19時00分～

場所：へきなん福祉センターあいくる 会議室2・3

内容：

※社協からの連絡（メール送付）について

volacen@hekinan-shakyo.jp のアドレスからご連絡させていただきます。

連絡先が変更になった方はご連絡をお願いいたします。

碧南防災ボランティア連絡会 (R2.7.5) 勉強会 アンケート まとめ

参加者 36名

勉強会お疲れ様でした。受講しての感想やご意見等ありましたら、ご記入ください。

- ・具体的にわかりやすい勉強会でした。声かけの大事さも痛感しました。普段の生活から地域でのつながりが大切だということもよくわかりました。
- ・大変わかりやすく教えていただきました。しっかり勉強したいと思います。
- ・被災地支援体験の豊富な講師の浦野さんのご講演は大変参考になりました。コロナ禍での避難所運営はとても課題が多いと思いました。
- ・具体的な説明でわかりやすかった。(例:レイアウトの考え方→建物・フロアを分ける、段ボールベッドを勧めたい人→床から立ち上がりやすい人・杖や車イス利用者、避難所の居住スペースは土足禁止→感染防止のため)
- ・新型コロナ禍での避難所運営の講座大変勉強になりました。避難所生活での命と尊厳を保つ大切さ、分散避難の考え方、災害関連死を防ぐことの大切さ。大変ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。これまで気にしていなかったことがとても重要なことがあるという気づきがありました。また、もっと勉強することがたくさんあることを痛感しました。地域での実施、訓練が必要と感じた。(とりあえずやってみる)
- ・非常に勉強になりました。まず各自治会、町内会の代表がこのような勉強をする必要がある。今の自主防災会の役割分担の確認。トイレ・水・食料・衛生環境の係。
- ・常にボランティアを育てておかないといけない。このような勉強会は区長とか会の長とかの人は絶対出席するとよい。
- ・現在市から指定された避難所が少ない。指定を増やす必要がある。全ての避難所(全公民館・区民館・学校・自治会集会所)に発電機を行政が設置する。
- ・感染症対策をもちこんだ生活はとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・大変な状態になってくるのではないか?避難所内での住民の力が大きい。声かけ、傾聴が大事だと思った。在宅避難を頭に入れておく。
- ・パイプ役なら自分もできるかと思った。(近所の人とはどこに、誰が、どんな人等がわかっているのか)
- ・ゾーニングで交差しない工夫が難しい。